



柳沢小学校の皆さん、こんにちは！先日、パラオは台風の影響で全国の学校が二日間休校になりました。全国といってもパラオには小学校から大学まで合わせて25校しかありません。日本には小学校だけでも約2万校あるので、その数の違いに驚かされます！



【台風で倒れたバナナの木】

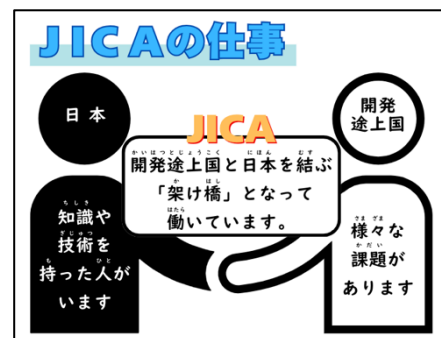
さて、そもそも私はなぜパラオへ来たのでしょうか。昨年度の辞校式で「パラオへ行きます」と皆さんにお話ししましたが、詳しいことは伝えられなかったと思います。今日は、「横田先生は何しにパラオへ？」について紹介していきます。

## Youは何しにパラオへ? Why did you come to Palau?

私は、毎回通信のタイトルの右側に、「JICA海外協力隊」と書いています。私はこの「JICA 海外協力隊」という事業に参加したことで、パラオ行きが決まりました。

### JICA とは？

開発途上国とよばれる国は約160カ国。これらの国では、「安心して飲める水がない」「子どもが勉強をさせてもらえない」「病気で亡くなる人が多い」など様々な問題が人々を苦しめています。JICAはそれらの国と日本を結ぶ「架け橋」となって協力を進め、開発途上国の人々がよりよい生活を送れるようお手伝いしている機関です。



### JICA 海外協力隊とは？

JICAの活動の1つに「JICA 海外協力隊」とよばれるボランティアを開発途上国に派遣する事業があります。

「技術・知識や経験を開発途上国の人々のために生かしたい」という意欲をもつ人が参加して様々な国で活動を行います。

活動内容には、教育や医療、スポーツ指導など190以上の職種があります。20歳～69歳なら誰でも参加することができます。興味がある人は、ぜひ大人になったら参加してみてください！



【大洋州という地域に派遣される隊員のみなさん】

### 横田先生はなぜ JICA 海外協力隊に参加したの？

「協力隊に参加したら、先生として働いてきた経験を開発途上国の人々のために生かせるのはもちろん、帰国してから日本の子ども達にも多くのことを伝えることができる！そして、先生としての自分自身の成長にもつながる！」と思い、参加を決めました。私は「数学教育」という分野で教育省というところに派遣されています。パラオ国内の学校を同僚の先生と一緒に訪問し、算数・数学の授業を参観してアドバイスをしたり、授業の手伝いをしたりします。私の活動の詳しい内容については、今後少しずつ紹介していきます。



【同僚の先生】



【数学の授業参観とサポート】



【オフィスに遊びに来て、算数の本を見ている子たち】